

グローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進事業

「アセアン加盟国中学生招聘交流事業」

1. 趣旨

アセアン加盟国と日本の中学生が、自然体験や文化体験等の交流活動を通して相互理解を深め、アセアン加盟国とのパートナーシップを構築するとともに、日本の中学生の国際的視野を醸成し、次世代リーダーを育成する。

2. 主催・実施・協力・協賛

主催：文部科学省

実施：独立行政法人国立青少年教育振興機構、国立花山青少年自然の家

協力：栗原市教育委員会、栗駒中学校、栗原西中学校、栗原市産業経済部ジオパーク推進室
栗原市国際交流協会、くりはらツーリズムネットワーク

協賛：株式会社ニッコクトラスト

3. 事業の概要

(1) 期日 平成28年11月24日(木)～12月3日(土)【9泊10日】

(2) 参加者

①参加対象 アセアン加盟国招聘中学生(フィリピン、マレーシア)12名
栗原市内中学生(リーダー研修会参加)12名

②参加人数 アセアン加盟国中学生：12名/12名
フィリピン人中学生(男2名、女4名)、マレーシア人中学生(男2名、女4名)
日本人中学生(栗原市立栗駒中学校・栗原西中学校)15名(男4名、女11名)

4. 企画・運営のポイント

- ①花山プログラムの企画委員会を組織して、プログラムの企画・運営を行った。企画委員(栗原市教育委員会、栗原市立栗駒中学校及び栗原西中学校の校長・PTA会長、ジオパーク推進室、栗原市国際交流協会、くりはらツーリズムネットワーク)
- ②栗原市立栗駒中学校及び栗原西中学校の協力のもと、学校交流活動とホームステイを実施した。
- ③くりはらツーリズムネットワークの協力のもと、事業を通して日本人中学生のリーダー養成研修を行った。

5. 日程

期日	内容	実施場所
8月～11月 <5回>	リーダー養成研修 事前研修 ・アセアン加盟国(マレーシア、フィリピン)の歴史や文化の学習 ・ディスカッションに向けた地域の魅力や課題について ・ウェルカム・フェアウェルパーティーの運営について	栗原市立栗駒中学校 栗原市立栗原西中学校 花山青少年自然の家
11月24日(木)	・入国、迎え ・到着、オリエンテーション	仙台空港 花山青少年自然の家
11月25日(金)	・ジオパーク体験(地域の自然) ・市長表敬訪問 ・ウェルカムパーティー(日本の中学生企画・運営による)	栗原市内、栗原市庁舎 花山青少年自然の家
11月26日(土)	・日本語学習プログラム(日本人中学生との相互学習) ・食文化体験プログラム(餅つき、日本人中学生と相互活動) ・ホームステイ家族との対面 夜間：ホームステイによる日本の生活体験	花山青少年自然の家 一迫ふれあいホール ホームステイ先
11月27日(日)	・ホームステイによる日本の生活体験 ・学習のまとめ	ホームステイ先 花山青少年自然の家

11月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化、歴史体験プログラム(狛鼻溪舟下り) 地域の文化、歴史体験プログラム(平泉中尊寺等視察) 	岩手県狛鼻溪周辺 岩手県平泉周辺
11月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 栗原西学校、栗駒中学校訪問・授業体験・文化交流会・部活動体験 生徒間のディスカッション(国・地域の魅力と課題) 	栗原市立栗原西学校 栗原市立栗駒中学校 一迫ふれあいホール
11月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 食文化体験プログラム(うどん打ち体験) ディスカッションのまとめ 	花山青少年自然の家
12月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化体験プログラム(着物の着付け体験) 中学生、企画委員関係者によるフェアウェルパーティー 	花山青少年自然の家
12月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 退所、東京に向けて出発 大使館訪問フィリピン、マレーシア・合同評価会準備 	国立オリンピック記念青少年総合センター
12月3日(土)	午前：合同評価会	国立オリンピック記念青少年総合センター

6. 主な活動内容



日本人リーダーの企画・運営によるウェルカムパーティー



授業体験での書写の様子



みんなで別れを惜しんだフェアウェルパーティー

7. 成果と課題

本事業は実施から3年目をむかえ、関係機関との連携も深まりスムーズな運営ができた。栗原市長をはじめ市民協働課、ジオパーク推進室、教育委員会、学校等、栗原市の各関係機関の多大なる協力のおかげで、招聘者に感動を与えられるプログラムが実施できたと考える。

栗原西中学校と栗駒中学校の両校では、年度当初から本事業をカリキュラムに位置づけ、交流活動やリーダー研修に対して支援をいただいた。ホストファミリーに関しては、前年度は2人の招聘者に対して1件のホストファミリーであったが、今年度は教職員からの保護者に対する積極的な声かけが響き、1人の招聘者に1件のホストファミリーという目標が達成できた。招聘中学生にとってオンリー1のホストファミリーとなり、ホームステイ期間中にたくさんの感動が生まれた。リーダー研修会では、「地域をより良くするために何をすべきか」について、地域おこしに力を注いでいる「くりはらツーリズムネットワーク」の活動を参考に、中学生一人一人が真剣に現状と課題の把握に取り組み、招聘者とのディスカッションを通して自分たちの考えをしっかりとまとめることができた。

招聘中学生と日本人中学生の交流については、宿泊して寝食を共にすることで、短い時間で信頼関係を築くことができた。これも保護者や学校の理解があって実施できたことであり、本施設と地域の良好な関係を築いていくことの重要性を再認識し、今後、更なる連携の深化に努めていきたいと考える。

担当：企画指導専門職 山田 健一